

忠地義光さんが土砂災害防止功労者として表彰されました

土砂災害防止月間（6月）にあたり、土砂災害防止に関して顕著な功績があり、他の模範として推奨に値すると認められる個人や団体を国土交通大臣が「土砂災害防止功労者」として毎年表彰しています。今年度、個人の部で、北陸地方整備局から推薦を行った、忠地義光さん（特定非営利活動法人梓川流域を守る会顧問）が選ばれ、6月11日（木）土砂災害防止「全国の集い」in滋賀（大津市）で表彰式が行われました。

【功績の概要等】忠地 義光さん（特定非営利活動法人梓川流域を守る会顧問）

表彰基準：（4）土砂災害防止対策事業の推進

- 昭和58年奈川村の土砂災害以降、村議会議員、村長、松本市合併後は市議会議員として奈川・安曇域の復旧・復興に尽力された。
- 令和元年7月より特定非営利活動法人梓川流域を守る会の理事長として砂防事業推進のため、関係機関との調整や地域の声を中央へ伝える役として貢献された。
- 土砂災害対策等において、会独自での危険箇所の調査を行い行政機関への提言・要望活動、砂防に関する啓発活動（広報誌の発行等）等に積極的に従事された。
- サクラマスの遡上を観察できる金原砂防堰堤の建設に構想から完成まで地域の代表として参画し、環境の保全に配慮した砂防事業の実現にも貢献されている。



上高地現地調査時の様子（前列中央が忠地さん）



表彰式の様子（左：廣瀬技監、右：忠地さん）

【特定非営利活動法人 梓川流域を守る会】

梓川流域で実施されてきた砂防の歴史を継承し、一層の砂防事業の促進を図るための活動を展開することを基本とし、松本市安曇・奈川地区の住民等の安全・安心の確保、防災意識の向上、安全なまちづくり、環境の保全等の活動を支援し、公益の増進に寄与することを目的として、平成18年に設立された団体です。



上高地白沢の現地調査（要望活動）



安曇小学校総合学習支援（防災教育支援）